



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

報道関係各位

2018年9月27日

今年で9年目

環境教育プログラム つながる輪『いのち』 旭山動物園内の循環型農園にて「収穫祭」を開催！

～“生態系の循環”を体感しよう～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は旭山動物園および協力団体と実施する環境教育プログラム「つながる輪『いのち』」（以下、同プログラム）の活動エリアである、旭山動物園内の「循環型農園」にて、下記の通り収穫祭を行いますので、ご案内申し上げます。

同プログラムは動物の排泄物を利用した堆肥から農作物を作り、その農作物が動物や人間の食料になることで食物の循環を学ぶ環境教育プログラムで、今年で9年目を迎えます。

今年は5月に農園開きを行い農作物の作付けを行ったほか、「ホタルが生息できる環境づくり」を目指し、ホタルの幼虫を放流しました。収穫祭では収穫を行うとともに、収穫した野菜を園内の動物に提供することで、生態系の循環を体感します。



※昨年の様子

環境教育プログラム「循環型農園」収穫祭

- 日 時：2018年9月29日（土） 午前10時から
- 場 所：旭川市旭山動物園やすらぎの森横「循環型農園」前（旭川市東旭川町倉沼）
- 出席者：旭川市 旭山動物園長 坂東 元 様
 当社 営業統括本部 第二本部 営業三部 地域連携担当部長 野原 英二
 旭川実業高校、旭川農業高校、拓殖大学北海道短期大学ほか
- 内 容：①関係者全員で収穫実施 ②収穫した野菜を園内の動物に提供

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力さをさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部
担当：河西 TEL：011-888-2091

【ご参考】

同プログラムは、2008年に当社と旭川市との間で締結した「魅力的なまちづくりに関する基本協定」にもとづく環境教育事業です。

2008年7月に当社で寄贈した旭山動物園内休憩スペース「やすらぎの森」横にて、旭山動物園と当社を含む協力団体が協働して2010年から農園を開墾し、動物の排泄物を利用した堆肥から農作物を作り、その作物が動物や人間の食料になることで食物の循環を学ぶ環境教育プログラムとなっており、さまざまな企業・団体の協力や、「つながる輪『いのち』」応援自動販売機を通じた皆さまからの善意をもとに運営を行っています。

来園者に環境に対する興味を持っていただくきっかけとなることを目指し活動するもので、食物の循環をはじめとした環境について学ぶ機会を提供しています。

■ 協力関係者及び協力内容

(敬称略)

協力団体及び氏名	役割等
旭川実業高校	農園管理、堆肥管理
旭川農業高校	農園管理、堆肥管理
拓殖大学北海道短期大学	農園アドバイザー、作物育成指導
株式会社北海道録画センター	農園づくり支援、活動内容録画
花本建設株式会社	土、有機肥料提供と搬入
株式会社新見産業	焼丸太提供(柵)
有限会社旭川銘木	畑の囲い木枠用板提供
旭川市旭山動物園	トータル管理、農園場所提供、水道光熱費負担
北海道コカ・コーラボトリング(株)	環境プログラム総合調整

■ 「つながる輪『いのち』」寄付自動販売機 設置協力者

(敬称略)

	設置協力者の名称	設置協力者の住所
1	ロッジヴィクトリア	北海道旭川市春光台1条4丁目
2	木村下宿	北海道旭川市末広4条2丁目
3	株式会社トラスポジャパン	北海道旭川市末広6条1丁目
4	東邦電設株式会社	北海道旭川市東光3条2丁目